

2月 園だより

令和7年2月1日
第三ひもんや保育園園長

先月「新年お祝い会」を行い、新たな年明けを子どもたちと一緒に楽しみました。十二支の話やおせちの食べ物の由来を子どもたちに伝えました。黒豆の絵を見せ「これは何かな」と尋ねるとすぐに「黒豆。食べたよ」と声が上がりました。「じゃあ、黒豆は何で食べるのでしょうか」と尋ねると、次々に手を挙げる子どもたちですがなかなか正解にたどり着きません。「まめまめしく働く」と答えが返ってきた時には、皆で大きな拍手をしました。そのあとも、数の子や昆布などおせちの中に入っている食べ物を見せると「伊達巻も美味しかった」「お雑煮も食べた」と、自分たちが経験してきたことをたくさん話してくれました。日本古来の正月の料理を各家庭できちんと食べていることが垣間見れた瞬間でした。保育園でも様々な伝承を子どもたちと一緒に楽しみ、感性を養っていきたいと思います。

先月から各クラスの懇談会が始まっています。保護者の方から子どもたちの成長した姿を聞くことができ嬉しく思います。園での姿からも成長した様子は日々感じています。保護者の方と子どもたちの姿を共有しながら保育を進めていきたいと思います。

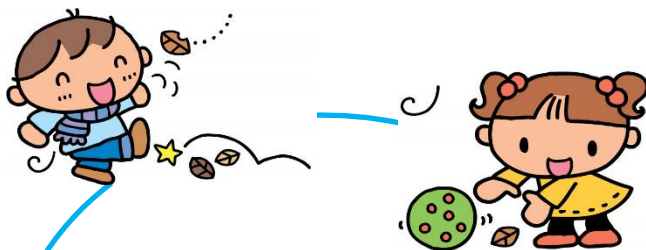


2月の予定

節分
街ごっこ
クラス懇談会



異年齢の関わり 乳児クラス編



2歳児クラスの子がボール遊びをしていると、1歳児クラスの子が近くにやってきました。足の間にボールを転がす遊びを、2人で楽しそうに笑い声をあげながら繰り返していました。

1歳児クラスの友達がおうちごっこを始めると、0歳児の子が興味を持ち同じようにコップを持ってきました。「どうぞ」と分けてもらえると、とても嬉しそうです。





まちごっこ（3・4・5歳児クラス）

の取り組み様子をお伝えします。



4、5歳児クラスは、縦割りで2グループに分かれてお店作りをします。まず、街探検で商店街に見学に行きました。「あ、ここ来た事ある」と知っているお店を見つけたり「このお店は狭いんだね」と、新しい発見があったりしました。

エアホッケー
うまく滑るかな？



グループごとに、どんなお店にするかを話し合いました。「赤ちゃんでもできるものって何だろう」と考えたり、作りたいものが決まり「何色にする」と具体的な相談をしたりしています。

見て。
スパゲティーができたよ



みつばち組も街探検に行き、何屋さんをやりたいのか一人ずつ聞いてみました。選んだお店は全部食べ物屋さんになりました。

みんなで作った食べ物、空き箱で作ったレジなどを使い、さっそくお店屋さんごっこを楽しんでいます。初めは全員が店員さんになっていましたが、お客さんも来て「いらっしゃいませ」「これください」と、やりとりをしています。